一般財団法人 オアシス
smile station yokohama

東日本大震災
復興支援活動報告

立ち上がろう東北！
～あなたの笑顔をつなぎたい～

活動記録

2011.3.21 第一次救済チーム

東日本大震災により被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

一般財団法人オアシスは、地震発生 10 日後より私たちの想像をはるかに越えた被害の大きさの前に「今、私たちに何か出来ることはないだろうか・・？」の思いで活動を開始しました。

緊急支援物資募集の声掛けに、横浜でも物資不足が発生する中でも、一般市民の皆さんも参加して支援物資が沢山集められ、物資の輸送が始まりました。
第 1 チームから始まった支援活動も現在、第 12 次チームを迎え、支援物資の配布、炊き出し、瓦礫の撤去、清掃などの活動をする中、多くの方との様々な出会いがありました。

ここに、これまでの活動への皆様のご協力を感謝して、活動報告第 1 号をお届けいたします。
これからの私たちの活動は一時的な緊急の支援から形を変えていきます。
現地に活動拠点を置き、日常生活を共にする中で、本当の必要に何とか少しでもお役に立ちたいとの思いで、心を通わせながらの支援活動を目指して継続していきます。

これからも皆様のご協力とご参加を、どうぞよろしくお願い致します。

東日本大震災被災地支援活動報告

第1次救済支援チーム（3月21日～26日）

3月19日、緊急物資募集を開始。わずか2日間で山の様に物資が集まる。
3月21日～26日、男性のみ7名が物資をマイクロバスに満載し仙台へ出発。一般財団法人日本国際飢餓対策機構と協働して、燃料、水、緊急支援物資配送や被災地調査、避難所探索、泥出し清掃にあたる。気仙沼市、女川町、牡鹿半島、東松山市、石巻市、南三陸町、釜石市、宮古市で活動。道中に「助けて下さい」と涙でうずくまる人もいた。

第2次救済支援チーム（3月28日～4月4日）

男性10名参加。釜石にて民家商店街清掃。清掃中大切な印鑑を見つけ喜ばれる。大槌、宮古、田老町、新浜町に物資配布。瓦礫に立ちすくむ思いを書いた「歌」の詩を託される。

第3次救済支援チーム（4月4日～4月7日）

仙台YWCA・仙台ホザナ教会に宿泊。仙台市若林区、八軒中学校内避難所で行われた森祐理さん慰問コンサートに同行。その後イエス福音教団 宮城教会に宿泊を移動し、石巻市・南三陸町にて物資配布と炊き出しを行いながら、被災者・子どもたちとの交わり。帰浜前日に震度6の余震に遭遇。現地の方々の安否確認後に帰浜。

第4次救済支援チーム（4月11日～4月15日）

釜石市、藤原宅に宿泊。新生釜石教会を拠点とした。大槌町にて個人宅、おさなご幼稚園の清掃、物資配布。教会周辺清掃。釜石新浜地区、山田町、宮古市物資配布。

第5次救済支援チーム（4月17日～4月22日）

イエス福音教団宮城教会に宿泊。
山元町で炊き出し、物資配布を行う。
釜石市市内の避難所で行われた森祐理さん慰問コンサートに同行。

第6次救済支援チーム（5月29日～6月1日）

イエス福音教団宮城教会に宿泊。
シンガポールから、5名の奉仕者参加を含む。
現地では2チームに分かれ活動。作業チームは被災家屋清

第7次救済支援チーム（6月12日～6月13日）

（株）ファンケルより6名の参加を含む。12日夜9:00に出発、13日朝に石巻市到着。現地では2チームに分かれて活動。作業チームは八幡町にて清掃作業。ファンケル社の参加者を含むチームは、午前は稲井小学校避難所にて、また、午後は女川町・野々浜避難所にてハンドマッサージ・お化粧・栄養指導を行った。活動拠点の契約完了。23:00頃に帰浜。

第8次救済支援チーム（6月20日～6月30日）

アメリカよりグローバル・エクスペディションチーム24人を含む30人が参加。拠点整備に取り組んだ。

第9次救済支援チーム（7月1日～7月2日）

15名参加。（株）ファンケルから8名参加し、避難所訪問と拠点作業班の2チームに分かれて活動。メイク・ハンドマッサージなど、を通しての交流もあり、大変よろこばれた。

第10次救済支援チーム（7月8日～7月10日）

10人が参加。拠点整備に取り組んだ。

第11次救済支援チーム（7月10日～7月16日）

オアシスから10名。シティーハーベストから8名が参加。

・現地支援チームを支える動きとして、4月3日（日）本郷台駅前にて栄区と協同で義援金の募金活動、支援物資の受付を行い、多くの市民の参加を頂いた。
・6月21日には仙台国際センターで行われた、復興支援ライブに大和田姉が出演し、第2チームの活動の中で、被災された牧師から託された詩に作曲をした、「歌」という曲を披露した。

東日本大震災
救援物資募集
Family
P

復興支援活動会計報告

収入

科　目	金　額
寄付金(～7/22)	¥888,774
助成金(JECA)	¥180,966
助成金(日本財団)	¥1,000,000
合　計	¥2,069,740

支出

科　目	金　額
第1次経費	¥86,740
第2次経費	¥88,686
第3次経費	¥54,154
第4次経費	¥50,046
第5次経費	¥146,376
第6次経費	¥99,706
第7次経費	¥34,576
第8次経費	¥222,016
第9次経費	¥166,412
第10次経費	¥21,128
第11次経費	¥42,347
拠点整備滞在	¥49,493
復興支援ライブ費用6/21	¥234,703
拠点整備費	¥59,727
その他経費	¥296,163
仮払金	¥220,000
次期繰越	¥197,467
合　計	¥2,069,740

出費予定

科　目	金　額
横断幕	¥34,000
アイスクリームマシーン	¥90,000
拠点工事費	¥4,700,000
布団一式	¥200,000
8/1奉仕者燃料費他	¥40,000
合　計	¥5,064,000

救済支援チームボランティア：
のべ約170名

提供支援物資の種類：
水、米、レトルトご飯、パン、カップ麺、乾麺、野菜、果物、缶詰、ソーセージ、灯油、カセットコンロ、カセットボンベ、風邪薬、胃腸薬、ビタミン剤、水のいらないシャンプー、紙おむつ、お尻ふき、粉ミルク、母乳パット、離乳食、トイレットペーパー、生理用品、下着、長靴

炊き出し用支援物資：
牛丼用…牛肉・玉ねぎ、卵、米、容器（使い捨て容器・丼）、割りばし、お汁粉…あずき缶・調理済みあんこ、白玉粉、容器（使い捨て容器、お椀）割りばし、飲料水用ポリタンク

炊出しメニュー：
牛丼、しるこ、三色丼、魚そぼろ丼、大根酢もの、大根煮物

一般財団法人 オアシス
smile station yokohama